

環境経営レポート

活動期間 令和6年8月～令和7年7月



発行：令和7年11月7日

わたしたちの誇りは品質。

竹花工業株式会社

目 次

環境経営方針		1
組織の概要		2
組織図		3
再資源化(処理フロー)		4
主要な環境経営活動計画の内容		5
環境経営目標とその実績及び評価【本社】		6
環境経営目標とその実績及び評価【駒ヶ根支店】		7
環境経営目標とその実績及び評価【駒ヶ根工場】		8
主な環境経営活動の内容		9
環境関連法規への違反、訴訟の有無		12
次年度の環境経営目標・取り組み内容		13
代表者による全体の評価と見直し・指示		14

環境経営方針

1. 環境経営理念

高い技術、誠実、迅速を常に信条として社業を通じ社会に貢献し環境保全活動に
全社員で取り組みます

2. 経営基本方針

- 1) 担い手の確保・顧客の満足度を高める
- 2) 働き方改革と生産性向上
- 3) 事故防止

3. 環境経営方針

- 1) 省資源・省エネルギーに取り組み、CO₂排出量を削減する
- 2) 分別の徹底により、リサイクルの推進を図り、廃棄物を削減する
- 3) 環境に配慮した建築物・工作物等の提案を行う
- 4) CS活動により、環境経営目標を達成する
- 5) 地域社会における環境汚染の予防及び拡大防止に努める
- 6) 環境に関連する法規制を遵守する
- 7) 本方針を全社員に周知し、継続的な維持改善を行い環境保全に努める

制定日 平成23年9月10日

改訂日 令和 6年10月6日

竹花工業株式会社

代表取締役 唐澤正幸

組 織 の 概 要

(1) 事業所及び代表者名

竹花工業株式会社
代表取締役 唐澤 正幸

(2) 所在地

本社 長野県小諸市南町二丁目6番10号
小諸生コン工場 長野県小諸市甲1816-1
工事施工部 長野県小諸市甲狐穴1818-1
田中支店 長野県東御市県518番地
軽井沢営業所 長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉字東屋敷浦4630-18
北軽井沢支店 群馬県吾妻郡長野原町大字応桑819-3番地
駒ヶ根支店 長野県駒ヶ根市中沢12175番地
駒ヶ根工場 長野県駒ヶ根市中沢3392番地

(3) 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 営業部長 小林 秀司
担当者 経理課長 小宮山 剛
連絡先 TEL 0267 (22) 1750 FAX 0267 (23) 3969
HP www.takehanakogyo.co.jp E-mail inho@takehanakogyo.co.jp

(4) 事業内容

総合建設業 国土交通大臣許可（特・般）第3322号
対象範囲： 建築工事、土木工事、管工事、とび・土工工事、石工事、舗装工事、造園工事
電気工事、解体工事、コンクリート補修、生コン・砕石等の製造販売
産業廃棄物中間処理業、住宅販売
対象組織： 全組織

一級建築士事務所 長野県知事登録（佐久）K第86095号
宅地建物取引業許可 長野県知事 (14)第1471号
産業廃棄物収集運搬業許可 長野県知事 2003029517
許可年月日 令和7年4月25日 有効年月日 令和12年4月24日

(5) 産業廃棄物処理施設等の状況

産業廃棄物処分業許可 長野県知事 2023029517
許可年月日 令和7年4月25日 有効年月日 令和12年4月24日
【中間処理施設所在地】 長野県駒ヶ根市中沢3242
がれき類の破碎施設 固定式:RC-30 固定式:SAP-4K 処理能力(720t/日)
がれき類の破碎施設 固定式 処理能力(624t/日)
アスコン廃材 7,566.61t 二次製品廃材 1,120.05t
コンクリート廃材(無筋) 3,612.32t コンクリート廃材(有筋) 2,494.35t

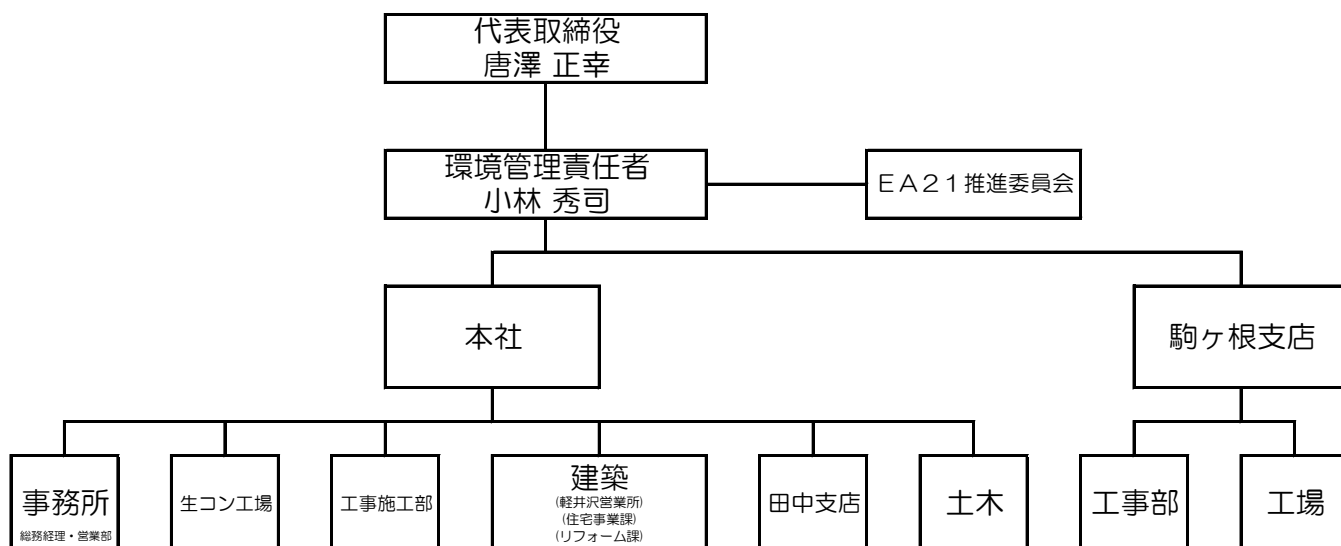
(6) 産業廃棄物の処理実績

収集運搬量 業としての実績 0 t 自社収集運搬実績 1482.7 t
中間処理量 14,793 t

(7) 事業の規模

設立年月日 昭和38年1月30日
資本金 9,600万円（授權資本1億5,600万円）
売上高 51億5,256万円（第63期 R6.8.1～R7.7.31）
従業員数 149名
本社建物 鉄骨造陸屋根5階建て 延べ床面積 1,916.98㎡

令和6年度 環境経営システム組織図

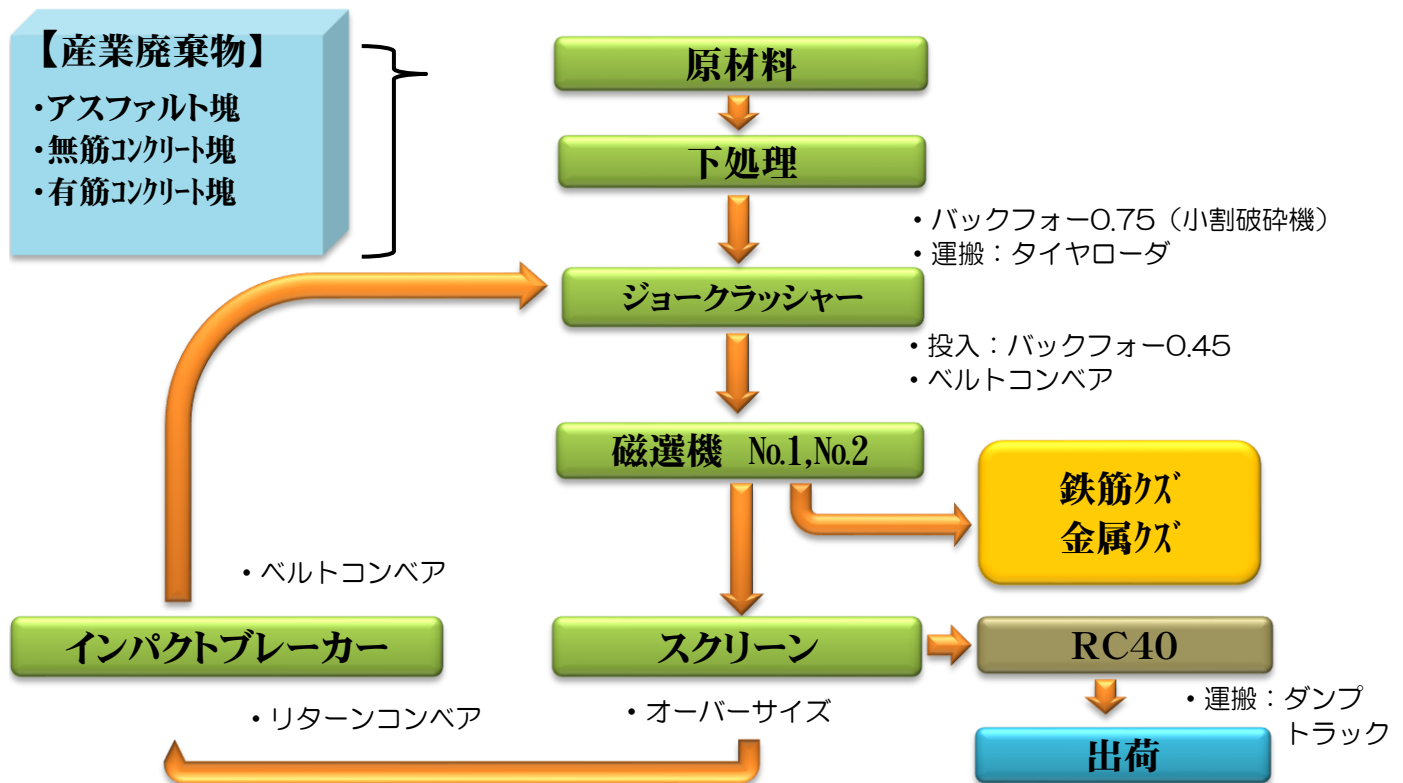


環境経営システム 役割・責任・権限表

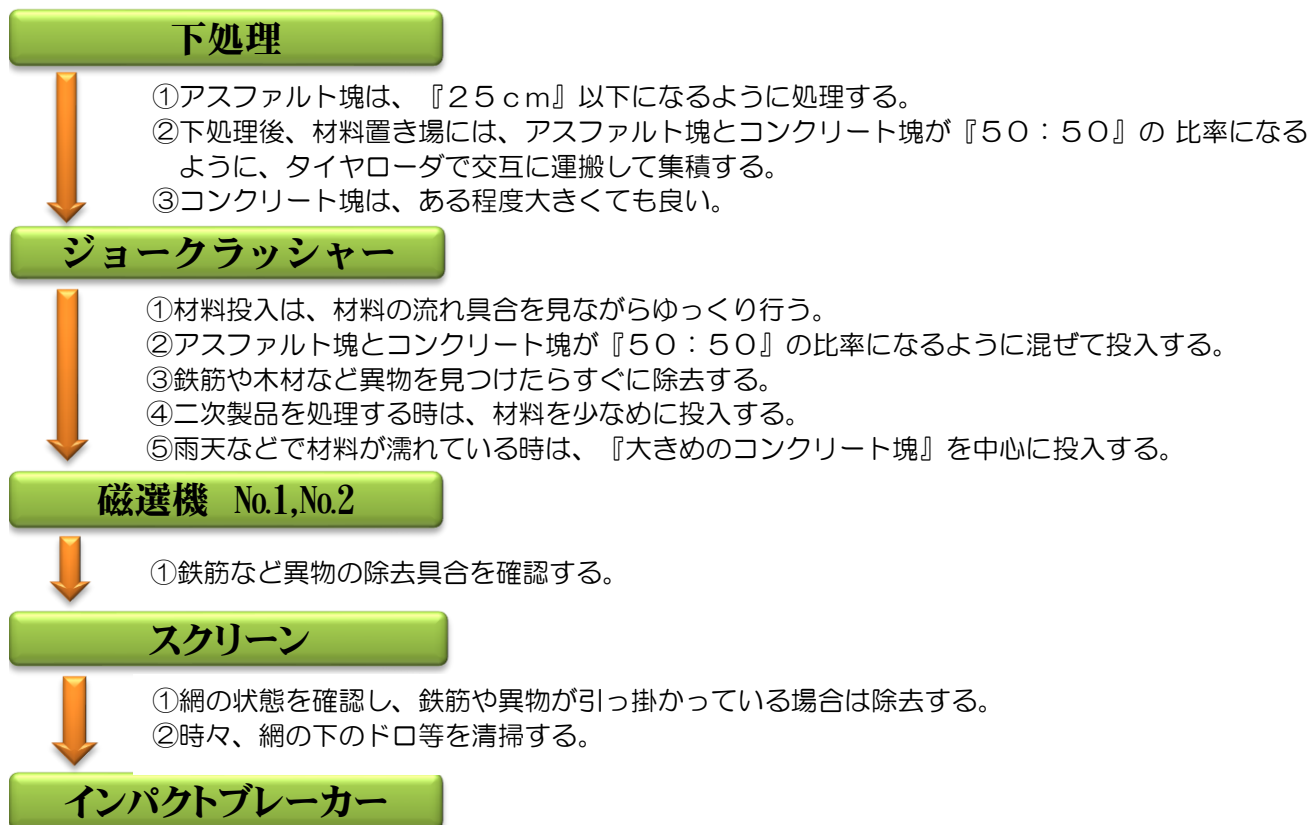
	役割・責任・権限
代表者 (社長)	- 環境経営に関する統括責任。 - 環境経営システムの実施に必要な。人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 - 環境管理責任者を任命。 - 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知。 - 環境経営目標・環境経営活動計画書を承認。 - 代表者による全体の評価と見直しを実施。 - 環境経営レポートの承認。
環境管理 責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理。 - 環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 - 環境経営目標・環境経営活動計画書を確認。 - 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告。 - 環境経営レポートの確認。
EA21 推進委員会	- 環境管理責任者の補佐。 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 - 環境経営目標、環境経営活動計画書原案の作成。 - 環境経営活動の実績集計。 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成。 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 - 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	- 自部門における環境経営システムの実施。 - 自部門における環境経営方針の周知。 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 - 自部門に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告。 - 特定された項目の手順書作成及び運用管理。 - 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成テスト、訓練を実施記録の作成。 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

※ 下請負人に於いては、対象外とする。

がれき類の破碎施設作業フロー図



がれき類の破碎施設作業要領書



【処理料金】

形状、数量等により異なりますので、弊社工場（TEL0265-82-5275）までお問い合わせ下さい。無料にてお見積りさせていただきます。

【保有する運搬車両】

11tダンプ 4台 、 4tダンプ 1台 、 2tダンプ 2台

令和6年度 主要な環境経営活動計画の内容

二酸化炭素の削減

【電力の削減】 削減率 -1.5%

- ・昼食時及び不使用部屋消灯
- ・OA機器の不使用时には電源をOFFにする
- ・残業時間、夜間照明を必要最小限にする

【灯油の削減】 削減率 -0%

- ・長時間不在時は暖房をとめる

【重油の削減】 削減率 -1.5%

- ・生コン工場に於いて、水槽の温度をこまめに確認し、加熱器のスイッチを管理する
- ・日中はボイラーを止める

【都市ガスの削減】 削減率 -0%

- ・不在箇所のエアコン電源OFF

【液化石油ガスの削減】 削減率 -0%

- ・沸騰時にすぐ消火
- ・音の鳴るやかん使用

【ガソリン・軽油の削減(自動車、建設機械等の燃料)】 削減率 -1.5%

- ・エコドライブ・アイドリングストップを実施する
- ・車両の整備、走行距離の定期的チェックを実施する
- ・積載オーバーをしない
- ・車両、機械の定期的整備を実施する
- ・各現場へ乗り合わせて移動する。

廃棄物

【産業廃棄物の削減】 削減率 -1.5%

- ・不要原紙の再利用（両面コピー、裏紙利用）
- ・分別収集によるリサイクル化の実施

【リサイクル化率の向上】 削減率 +0.3%

水

【水道水の削減・井戸水の削減】 削減率 -0.3%

- ・水道水を出しすぎない
- ・井戸水の使用量把握を行い削減につなげる

化学物質

【化学物質使用量の削減】 削減率 -0.3%

- ・原材料に含まれる化学物質の含有量を把握する

製品

【製品への環境配慮】

- ・環境に配慮した製品を生産又は販売する

※ 基準年【令和3年度】からの削減率を記載

令和6年度 環境経営目標と実績及び評価【本社】

項目				基準値	令和6年度実績値				中長期目標値		
				令和3年度 R3.8～R4.7	削減目標値		令和6年度 R6.8～R7.7	評価	令和4年度	令和5年度	令和6年度
二酸化炭素排出量	電力	購入電力	kwh	207,330	▲1.5%	204,220	200,475	○	206,293	205,257	204,220
		排出量	kg- CO_2	80,444	▲1.5%	79,237	77,784		80,042	79,640	79,237
	灯油	使用量	L	5,014	▲0%	5,014	1,443	○	5,014	5,014	5,014
		排出量	kg- CO_2	12,495	▲0%	12,495	3,596		12,495	12,495	12,495
	重油	使用量	L	7,309	▲1.5%	7,199	4,126	○	7,272	7,236	7,199
		排出量	kg- CO_2	19,805	▲1.5%	19,508	11,180		19,706	19,607	19,508
	都市ガス	使用量	Nm3	4,930	▲0%	4,930	5,025	×	4,930	4,930	4,930
		排出量	kg- CO_2	11,021	▲0%	11,021	11,233		11,021	11,021	11,021
	LPGガス	使用量	Nm3	77	▲0%	77	43	○	77	77	77
		排出量	kg- CO_2	231	▲0%	231	129		231	231	231
	ガソリン	使用量	L	53,242	▲1.5%	52,443	49,728	○	52,976	52,710	52,443
		排出量	kg- CO_2	123,610	▲1.5%	121,756	115,452		122,992	122,374	121,756
	軽油	使用量	L	218,989	▲1.5%	215,704	121,981	○	217,894	216,799	215,704
		排出量	kg- CO_2	566,354	▲1.5%	557,858	315,470		563,522	560,690	557,858
二酸化炭素総排出量			kg- CO_2	813,959	▲1.5%	802,107	534,844	○	810,009	806,058	802,107
産業廃棄物	排出量		t	3,450	▲1.5%	3,398	3,497	×	3,433	3,416	3,398
	再資源化量		t	2,858	○	2,823	2,677	－	2,847	2,835	2,823
	リサイクル化率		%	82	+0.3%	83	77	○	83	83	83
水道水排水量			m ³	23,920	▲0.3%	23,848	15,217	○	23,896	23,872	23,848
化学物質使用量			kg	2,260	▲0.3%	2,253	1,820	○	2,258	2,255	2,253

※電気使用量によるCO₂調整後排出係数は、中部電力(株) 2021年実績 0.388kg/kwhとする

評価

工事量の減少により、重機械の稼働率が下がり、燃料の使用量が減少した。
また、生コンプラントの稼働も低い事や、暖冬の影響で電気使用量、重油使用量も減少した。

令和6年度 環境経営目標と実績及び評価【駒ヶ根支店】

項目				基準値	令和6年度実績値				中長期目標値		
				令和3年度 R3.8～R4.7	削減目標値		令和6年度 R6.8～R7.7	評価	令和4年度	令和5年度	令和6年度
二酸化炭素排出量	電力	購入電力	kwh	37,071	▲1.5%	36,515	41,621	×	36,886	36,700	36,515
		排出量	kg- CO_2	14,384	▲1.5%	14,168	16,149		14,312	14,240	14,168
	灯油	使用量	L	2,165	▲0%	2,165	1,524	○	2,165	2,165	2,165
		排出量	kg- CO_2	5,395	▲0%	5,395	3,798		5,395	5,395	5,395
	重油	使用量	L	155	▲1.5%	153	20	○	154	153	153
		排出量	kg- CO_2	420	▲1.5%	414	54		418	416	414
	都市ガス	使用量	Nm3	0	▲0%	0	0	－	0	0	0
		排出量	kg- CO_2	0	▲0%	0	0		0	0	0
	LPGガス	使用量	Nm3	197	▲0%	197	179	○	197	197	197
		排出量	kg- CO_2	591	▲0%	591	537		591	591	591
	ガソリン	使用量	L	21,186	▲1.5%	20,868	14,676	○	21,080	20,974	20,868
		排出量	kg- CO_2	49,187	▲1.5%	48,449	34,073		48,941	48,695	48,449
	軽油	使用量	L	41,572	▲1.5%	40,948	22,491	○	41,364	41,156	40,948
		排出量	kg- CO_2	107,514	▲1.5%	105,902	58,167		106,976	106,439	105,901
二酸化炭素総排出量			kg- CO_2	177,490	▲1.5%	174,918	112,781	○	176,633	175,776	174,918
産業 廃棄物	排出量		t	1,316	▲1.5%	1,296	557	○	1,309	1,303	1,296
	再資源化量		t	1,316	0	3,835	557	○	1,309	1,303	1,296
	リサイクル化率		%	100	+0.3%	100	100	○	100	100	100
水道水排水量			m ³	899	▲0.3%	896	830	○	898	897	896
化学物質使用量			kg	0	▲0.3%	0	0	－	0	0	0

※電気使用量によるCO₂調整後排出係数は、中部電力(株) 2021年実績 0.388kg/kwhとする

評価

電力の実績値が、目標を上回っています。猛暑の影響が大きく作用しているものと感じます。省エネ電化製品の検討が必要。

令和6年度 環境経営目標と実績及び評価【駒ヶ根工場】

項目				基準値	令和6年度実績値				中長期目標値		
				令和3年度 R3.8～R4.7	削減目標値		令和6年度 R6.8～R7.7	評価	令和4年度	令和5年度	令和6年度
二酸化炭素排出量	電力	購入電力	kwh	758,084	▲1.5%	746,713	523,196	○	754,294	750,503	746,713
		排出量	kg-co2	294,137	▲1.5%	289,725	203,000		292,666	291,195	289,725
	灯油	使用量	L	15,535	▲0%	15,535	10,184	○	15,535	15,535	15,535
		排出量	kg-co2	38,712	▲0%	38,712	25,378		38,712	38,712	38,712
	重油	使用量	L	4,000	▲1.5%	3,940	10,000	×	3,980	3,960	3,940
		排出量	kg-co2	10,839	▲1.5%	10,676	27,096		10,784	10,730	10,676
	都市ガス	使用量	Nm3	0	▲0%	0	0	－	0	0	0
		排出量	kg-co2	0	▲0%	0	0		0	0	0
	LPGガス	使用量	Nm3	134	▲0%	134	21	○	134	134	134
		排出量	kg-co2	402	▲0%	402	63		402	402	402
	ガソリン	使用量	L	4,379	▲1.5%	4,313	4,988	×	4,357	4,335	4,313
		排出量	kg-co2	10,167	▲1.5%	10,014	11,580		10,116	10,065	10,014
	軽油	使用量	L	274,043	▲1.5%	269,932	228,480	○	272,673	271,303	269,932
		排出量	kg-co2	708,735	▲1.5%	698,104	590,900		705,192	701,648	698,104
二酸化炭素総排出量			kg-co2	1,062,992	▲1.5%	1,047,633	858,016	○	1,057,872	1,052,752	1,047,633
産業廃棄物	排出量		t	0	▲1.5%	0	0	－	0	0	0
	再資源化量		t	0	0	0	0	－	0	0	0
	リサイクル化率		%	0	+0.3%	0	0	－	0	0	0
水道水排水量			m³	689	▲0.3%	687	698	×	688	688	687
化学物質使用量			kg	0	▲0.3%	0	0	－	0	0	0

※電気使用量によるCO₂調整後排出係数は、中部電力(株) 2021年実績 0.388kg/kwhとする

評価

ボイラーの試用期間が終わると水道水量がもとに戻っているので、使用量はこのくらいが適量と思われる。
 重油に関しては、冬季の冷え込み方で変動があるので節約は見込めない。
 電力は大幅に使用量が抑えられていて目標を達成できている。
 生コン、骨材等の製品の出荷量は前年度より増えているため、設備を新しくしたのが大きな要因と思われる。

令和6年度 主な環境経営活動の内容【本社】

【環境美化活動】 地域貢献の一環として、現場周辺の清掃活動を実施した。

●開催日 令和7年5月16日

①国補道路メンテナンス(橋梁)工事 川又橋



●開催日 令和7年7月1日

①道路橋梁維持(舗装修繕)工事 耳取南



【緊急事態への準備と対応】

開催日 令和6年9月27日 午後1時30分～午後2時30分

場所 竹花工業 本社

訓練内容 ①通報訓練 ②避難訓練 ③消火訓練 ④救助者の搬送訓練

①通報訓練



②避難訓練



③消火訓練



④救助者の搬送訓練



令和6年度 主な環境経営活動の内容【駒ヶ根工事部】

【普通救命講習Ⅰ（AED講習）】工場と合同開催

開催日 令和7年4月5日 午前9時00分～12時00分

場所 伊南北消防署

訓練内容 心肺蘇生法（主に成人を対象）及び大出血時の止血法

伊南北消防署



普通救命講習Ⅰ 講堂



①開講 挨拶紹介



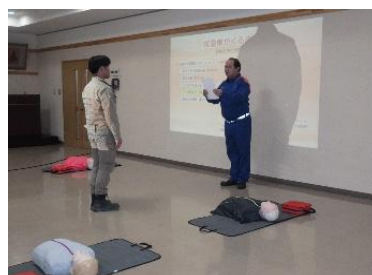
②ビデオ講習



③実技訓練講習



④閉講 普通救命講習修了証授与



【環境美化活動の実施】工事部エアコン清掃

開催日 令和7年6月19日 午後1時00分～3時00分

内容 消費電力削減のためエアコン清掃を実施しました



令和6年度 主な環境経営活動の内容【駒ヶ根工場】

【普通救命講習Ⅰ（AED講習）】 工事部と合同開催

開催日 令和7年4月5日 午前9時00分～12時00分

場所 伊南北消防署

訓練内容 心肺蘇生法（主に成人を対象）及び大出血時の止血法



【緊急事態への準備と対応】

開催日 令和7年7月9日 午前7時55分～8時20分

場所 駒ヶ根支店 生コン工場

訓練内容 ●消火訓練 ●油漏れ対処訓練



【地域貢献】

内容 花壇の整備 水仙や芝桜が枯れた草に埋もれていたなので枯草を抜き整備をした



令和6年度 環境関連法令等一覧表

主な法規制

法規・法令等名称	適用内容・遵守事項	遵守状況
1.廃棄物処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	遵守
2.騒音規制法	特定建設作業（杭打ち機、削岩機等）の実施届出	遵守
3.振動規制法	特定建設作業（杭打ち機、ブレーカー等）の実施届出	遵守
4.大気汚染防止法	解体・改修工事に伴う特定粉じん等排出作業の届出	遵守
5.建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	新築工事及び解体工事の実施の届出	遵守
6.労働安全衛生法	解体・改修工事に伴う石綿等の除去作業の届出	遵守
7.建築基準法	内装工事、空調工事に伴う使用禁止建材の規制等	遵守
8.建設工事公衆災害防止対策要綱	工事全般、解体工事に伴う付近住居者等への周知、塵芥・騒音防止の措置	遵守
9.フロン排出抑制法	解体前に設置有無確認 業務用エアコンの定期点検・簡易点検の実施と記録	遵守
10.消防法	危険物保管の指定数量以上の許可申請・届出	遵守
11.水質汚濁防止法	工事用排水、工場排水に伴う規制等 中和装置の設置届・特定施設設置届	遵守

- ・当社は小林管理者が中心となり法規の遵守状況について問題が無いことを確認しました。
- 又、過去3年間、違反、訴訟等の無い事を確認致しました。

次年度 環境経営目標・取り組み

令和7年度【令和7年8月～令和8年7月】

基準年【令和6年度】からの削減目標		取 組 み	取組重点部門
二酸化炭素の削減	電力の削減 -0.5%	1.昼食時及び不使用部屋消灯 2.OA機器の不使用時には電源をOFFにする 3.残業時間、夜間照明を必要最小限にする	各事業所
	灯油の削減	1.長時間不在時は暖房をとめる	各事業所
	重油の削減 -0.5%	1.生コン工場に於いて、水槽の温度をこまめに確認し、加熱器のスイッチを管理する 2.日中はボイラーを止める	生コン事業部
	都市ガスの削減	1.不在箇所のエアコン電源OFF	各事業所
	液化石油ガス（LPG）の削減	1.沸騰時にすぐ消火 2.音の鳴るやかん使用	各事業所
	ガソリンの削減 -0.5%	1.エコドライブ・アイドリングストップを実施する。 2.車両の整備・走行距離の定期的チェックを実施する 3.各現場へ乗り合わせて移動する。	各事業所
	軽油の削減 -0.5%	1.エコドライブ・アイドリングストップを実施する 2.積載オーバーをしない 3.車両・機械の定期的整備を実施する	車両資材部 生コン事業部
廃棄物	産業廃棄物の削減 -0.5%	1.不要原紙の再利用（両面コピー、裏紙利用） 2.分別収集によるリサイクル化の実施	各事業所 各現場
	リサイクル化率の向上 +0.1%		
水使用料の削減 -0.1%		1.水道水を出しすぎない 2.井戸水の使用量把握を行い削減につなげる	生コン事業部 各事業所
化学物質使用量の削減 -0.1%		1.原材料に含まれる化学物質の含有量を把握する	生コン事業部 各現場
製品への環境配慮		1.環境に配慮した製品を生産又は販売する	生コン事業部 各事業所

代表者による全体の評価と見直し・指示

長野県 建設業の現状

我が国では人口減少という大転換期が始まり、若者や生産年齢人口が減少する中、能登半島を襲った地震、豪雨の二重災害など、多くの自然災害が全国で頻発しており、防災・減災、国土強靱化の重要性が改めて認識された。これら自然災害から国民の安全・安心を守るためにも地域建設業の役割は、益々大きなものとなっている。

昨年より低金利政策からの脱却を目指す中で、金利ある世界への移行が始まり、食品価格の高騰を中心に、建設資機材の価格高騰も始まり、インフレ圧力が継続している。

また本年1月より、第2次トランプ政権が始まり、関税の引き上げによる輸出産業への打撃や、企業の不安感の増大など、民間投資の見直しもあり、日本経済全体に多大な影響を及ぼしています。

ウクライナやパレスチナなど終わりが見えない戦いも続いており、世界経済の先行きが不透明さを増す中、国内においても多くの企業で物価高や深刻化する人手不足への対応に苦慮し、円安による輸入物価の上昇も重なり、厳しい経営環境が続いている。

7月の参議院選挙が与党側の過半数割れという結果となり、国内においても政治体制の不透明感が増してくる状況となった。

地方自治体においても、価格や人件費の上昇により公共工事の実質的投資額が減少している。

公共工事に依存している、地域建設業を取り巻く状況は大変厳しい現状がある。

昨年の4月より、建設業における時間外労働の罰則付き上限規制が適用となり、働き方改革の着実な進展に向けた取り組みが引き続きの課題となっている。

問題多い状況下であるが、社会基盤づくりの主役を担う建設業においては、地域活性化、地域創成を実現し、若者が希望をもって働ける、活力と魅力にあふれる産業としての姿が求められている。

生産性向上・価格転嫁により業績を改善し、賃上げによる人材確保を進め、明日の担い手を育成し、建設業の社会的使命を果たさなければならない。

各社において経営基盤の強化、経営の安定化が重要となる。

竹花工業の現状

世界経済の不安定化による、物価上昇や人件費の高騰により、建設コストの増加と利益確保の難しさが顕在化し、将来に対する不透明感が出てきている。

また地域における建設業の仕事量減少と高齢化による業態の変化もあり、業務を停止する会社が増え、以前にはない受注環境が生まれていることも感じられる。

今期は、売上高は50億円を超える予測となり、前年度より増額となる。来期に向けての繰り越し工事は、軽井沢地区の受注などで増え、営業利益も増益の予想となっている。

経費は確保でき、賞与の配布もできそうだが、完成工事の未収金など問題は残っている。

営業外収益で大きなマイナスの要素がある。

会社の社員旅行やCS発表会を通常通り開催することができた。

CS活動ではそれぞれの部門が抱える問題の一部を、社員共有のものとして解決していく方向性が示せたと感じている。

各現場で多くの問題が発生しており、担当者や関係者の努力により工事の引き渡しに向けて対応を行っているが、図面変更等により工期に間に合わない仕事も出てきている。

公共工事は発注額が少なく、競争で低額の受注が続いている。駒ヶ根支店は上伊那地域の仕事が少ない中で、プラント工場が堅調な動きができた。

本社は隣地購入ができ解体工事が終了し、建設に向けてのプランニングがスタートした。

先行で建設予定であった駒ヶ根支店は、事務所の建て替えが確認申請の遅れなどで着工できていない。

建物や設備を整えることで、人が集える会社としてイメージアップにつなげ、雇用に生かしたい。

社会貢献の一つとして、災害時の出動や除融雪・小規模維持補修への対応、施工部・直営を中心に例年通りの対応ができた。

働き方に関して考え方の変化を感じている。特に若手社員の意識変化に対応しながら、技術・技能継承を行っていく必要がある。ハラスメントに対する研修など防止策を実施するとともに、多くの人が集える会社作りのため、社内制度の見直しと、ベテラン社員の意識改革と引継ぎが必須となる。

会社を取り巻く環境は常に変化していくが、事業の目的は「社員とその家族の幸せを追求し実現する」ことであり、あわせて外注先や仕事に関連する人たちを守ることで、企業の継続の意味があると考えます。

見直し項目	変更の必要性	有の場合の指示事項等
1. 環境経営方針	有 ・ (無)	
2. 環境経営目標・計画	有 ・ (無)	
3. 実施体制	有 ・ (無)	
4. その他	有 ・ (無)	

竹花工業株式会社
代表取締役 唐澤正幸